



平成24年度 まちの決算と仕事

町の人口が5万人に到達

ねんりんピック宮城・仙台2012 ゴルフ交流大会

富谷町では、自立した5万人都市と町民の皆さんが主役となる新しいまちづくりを進めるため、計画的な町政運営の基礎となる新総合計画(H21～H30)を策定し、スタートしています。

まちづくりの基本理念

幸せを実感でき 笑顔輝く あったかい富谷

将来像 ①

子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち・
すべての世代が生き生きと暮らせるまち

将来像 ②

豊かな自然環境と活力ある
地場産業を自慢と誇りにできるまち

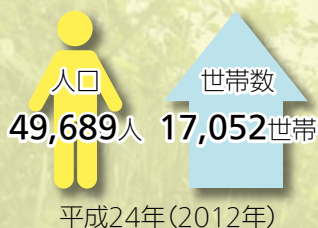
将来像

将来像 ③

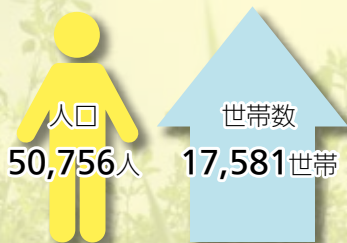
町民と町が直接つながる
あったかいまち

将来の人口と世帯数

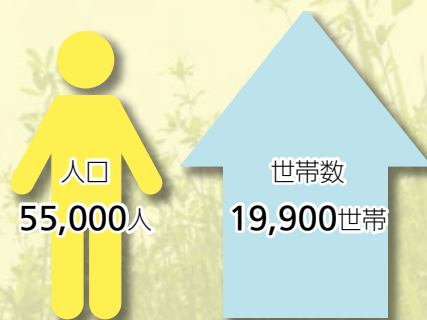
※平成24、25年は8月末の住民基本台帳人口です。平成30年は推計人口です。



平成24年(2012年)



平成25年(2013年)



平成30年(2018年)

健全な財政運営に努めています

●健全化判断比率・資金不足比率

富谷町は、早期健全化基準を大きく下回り、昨年度に引き続き健全な財政運営を行っています。

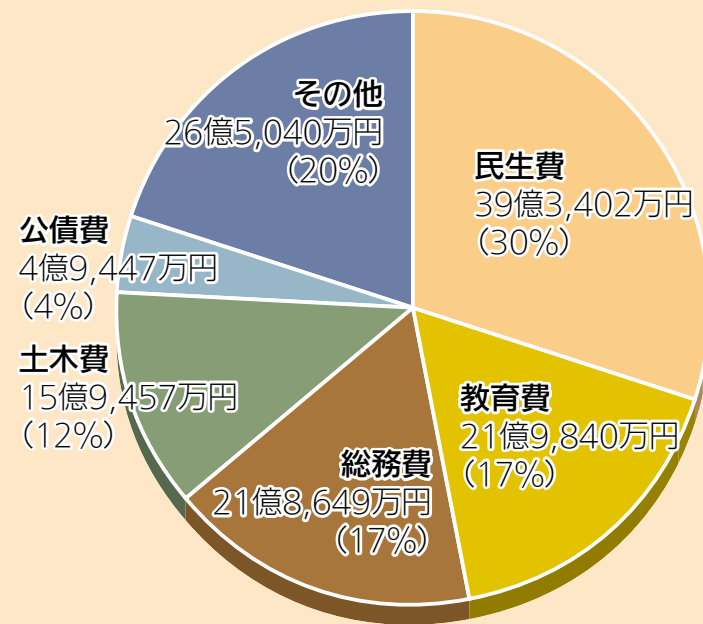
○健全化判断比率 一つでも早期健全化基準を超えた場合、財政健全化計画の作成が義務付けられるなど、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

区分	富谷町	早期健全化基準	内容
実質赤字比率	—	13.74	一般会計の実質赤字額と標準財政規模に対する比率
連結実質赤字比率	—	18.74	すべての会計の実質赤字額と標準財政規模に対する比率
実質公債費比率	▲1.0	25.00	公債費・公債費に準じた経費と標準財政規模に対する比率
将来負担比率	—	350.00	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債と標準財政規模に対する比率

○資金不足比率

富谷町の公営企業会計（水道事業、下水道事業）は、資金不足比率が算定されませんでした。

健全化判断比率と資金不足比率は、自治体の財政健全化度を判断する指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取組みが必要となります。



一般会計 歳出 130億5,835万円

歳出は、前年度と比べると震災廃棄物処理事業や災害弔慰金支給などの終了により民生費が2億3,161万円の減、教育費では新学校給食センター整備工事の終了などにより9億120万円の減となる一方、土木費は4億2,188万円増となり、全体として、前年度より4.2%の減少となりました。

用語解説

- 民生費**
児童・高齢者・障害者福祉、医療費など福祉全般の経費です。
- 教育費**
小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- 総務費**
防犯、交通安全、町民バスの運行などの経費です。
- 土木費**
道路の管理や改良、町営住宅、公園管理などの経費です。
- 公債費**
町が借りたお金やその利子を返還するための経費です。
- その他**
衛生費、消防費、議会費、災害復旧費などの経費です。

町民1人あたりに換算すると…

平成24年度

26万 142円

民生費…………… 7万8,372円
教育費…………… 4万3,795円
総務費…………… 4万3,558円
土木費…………… 3万1,766円
公債費…………… 9,851円
その他…………… 5万2,800円

※H25.3.31末現在の住民基本台帳人口50,197人で算出しています。

平成23年度

27万6,946円

民生費…………… 8万4,671円
教育費…………… 6万3,003円
総務費…………… 2万8,743円
土木費…………… 2万3,836円
公債費…………… 1万 632円
その他…………… 6万6,061円

※H24.3.31末現在の住民基本台帳人口49,198人で算出しています。

平成24年度

富谷町決算報告

問財政課 財務担当(☎358-0619)

平成24年度決算が、平成25年第3回富谷町議会定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、お知らせします。

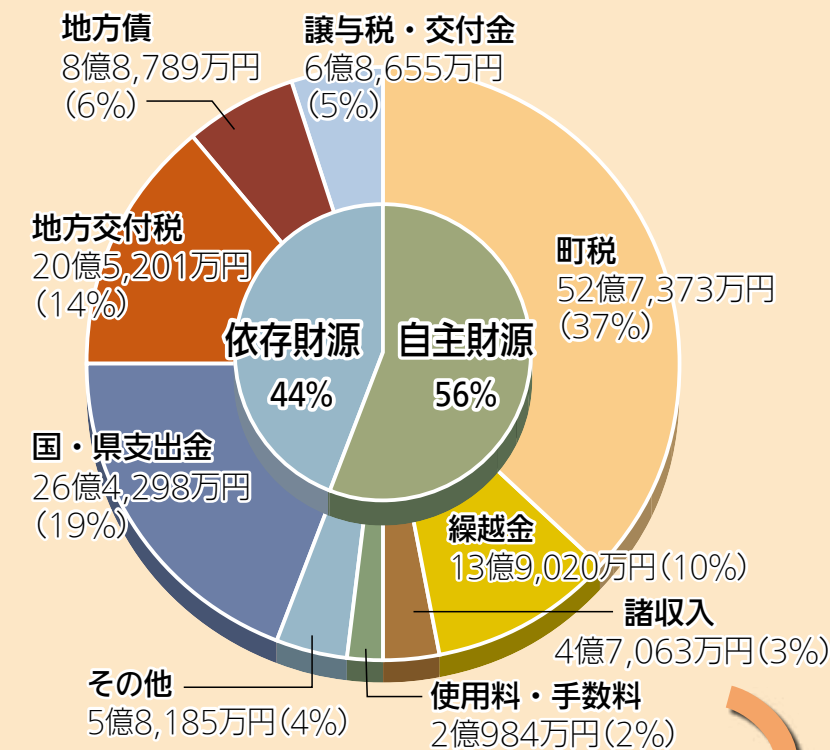
平成24年度の一般会計の決算は、歳入141億9,568万円、歳出が130億5,835万円となり、前年度より歳入で7.7%、歳出で4.2%の減少となりました。

また、歳入と歳出の差引額から、平成25年度に繰り越した事業に必要な財源5億5,881万円を除いた実質的な収支は、5億7,852万円の黒字となっています。

この黒字分は、平成25年度の事業に充てるほか、平成25年度以降に町のお金が不足する場合の貯金として、基金に積み立てました。

一般会計決算の状況

歳入	141億9,568万円
歳出	130億5,835万円
翌年度に繰り越した事業に必要な財源	5億5,881万円
実質収支	5億7,852万円



一般会計 歳入 141億9,568万円

■自主財源

79億2,625万円 (56%)

町税や使用料など、町が国に頼らず、自主的に調達できるお金のことです。この自主財源が多いと町の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

■依存財源

62億6,943万円 (44%)

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金のことです。また、町債もこれに該当します。

用語解説

- 町税**
皆さんが町に納めた税金（町民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- 繰越金**
平成24年度から平成25年度歳入へ持ち越された決算剰余金です。
- 地方交付税**
全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 国・県支出金**
国や県が使いみちを決めて交付するお金です。

町民1人あたりに換算すると…

平成24年度

28万2,799円

町税…………… 10万5,061円
国・県支出金…… 5万2,652円
地方交付税………… 4万 879円
地方債…………… 1万7,688円
その他…………… 6万6,519円

※H25.3.31末現在の住民基本台帳人口50,197人で算出しています。

平成23年度

31万2,519円

町税…………… 10万2,238円
国・県支出金…… 6万3,643円
地方交付税………… 5万9,764円
地方債…………… 1万9,288円
その他…………… 6万7,586円

※H24.3.31末現在の住民基本台帳人口49,198人で算出しています。

企画部 あったかまちづくり推進課

ねりんピック運営事業……………245万円
第25回全国健康福祉祭宮城・仙台大会「ねりんピック宮城・仙台2012」ゴルフ交流大会をレインボーヒルズゴルフクラブを会場に開催しました。本来の開催趣旨に加え、東日本大震災後の全国からの支援に対して感謝の気持ちを伝える、笑顔あふれる感謝と交流の大会としても開催しました。



福祉部 健康増進課

健康づくり事業……………144万円
第5回目となる「さあ！歩効果ウォーキング大会」は、効果的な運動の促進に加え、町内会等の協力のもと、地域交流、地産地消の推進、歴史探訪など多目的な大会として実施し、健康づくりの普及に努めました。



感染症予防事業……………2,951万円
季節性インフルエンザについては、65歳以上の方に対し、ワクチン接種費用に対する一部助成を実施しました。また、65歳以上の方の肺炎球菌による肺炎を予防するため、ワクチン予防接種費用の一部助成を実施しました。子宮頸がんワクチン接種については、引き続き、中学校1年生から高校3年生の女子を対象に、接種費用の全額助成を実施しました。

住民検診事業……………1億4,605万円
夜間・休日健（検）診の実施や、イベントとの同時実施など、受診しやすい環境を整えて、多くの町民の皆さんに受診していただくように努めました。また、宮城県補助事業「被災者健康支援事業」として、18歳から39歳までを対象とした健診を無料で実施しました。



特定健康診査等事業……………2,814万円
富谷町国民健康保険に加入している40歳から74歳までの方を対象に、生活習慣病に着目した特定健診を実施しました。健診の結果、特定保健指導の対象となった加入者には、新たに「健診結果説明会」を実施し、積極的な保健指導の下、生活習慣の改善に努めました。

教育委員会 生涯学習課

西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業……………1,429万円
広場の改修や、自然散策エリアを自然体験活動のできる「西コミおっちゃん森」として整備し、社会教育施設の運用に努め、利用者が前年度より増加しました。センターを会場にした親子自然体験事業を実施し、交流と学習の場として町民から愛される施設運営に取り組みました。

高齢者教育事業（公民館6館）……………198万円
「とみや豊壽大学」では、生きがいと健康づくりを図るとともに、高齢者の学習ニーズに応えながら、ふるさとづくりや社会貢献活動へのきっかけとなる場の提供を目的に、各学舎ごとに講座を開催しました。また全体として研修旅行、芸術鑑賞会を実施しました。



公民館維持管理事業……………1億6,338万円
施設の老朽化、利用者の安全確保のため、富ヶ丘公民館大ホール屋根葺き替え、成田公民館駐車場整備等、各公民館において、施設の改修および修繕を実施しました。

福祉部 長寿福祉課

敬老祝い事業……………1,810万円
全町内会で開催される地区敬老祝い事業へ、補助や救護等の支援を実施しました。敬老祝い金については、さまざまな検討の結果、人生の慶事である節目に支給することと見直し、各地区の敬老祝い事業の際、参加者の祝意のもと贈呈しました。



障害者自立支援給付事業……………2億8,736万円
第3期障がい福祉計画の初年度を迎え、計画理念「障がい者が住みなれた地域で安心して生涯を過ごせる町」を目指し、介護給付・訓練等給付を適正に実施しました。

介護施設整備補助事業……………1億7,144万円
県の補助を活用し、小規模多機能型居宅介護「杜の家いちい」、ケアハウス「いちいの風」、特別養護老人ホーム「せせらぎの里」を整備しました。

高齢者在宅生活支援事業……………2,798万円
高齢者やその家族の方が住み慣れた地域で安心して安全に暮らせるように生活支援および介護予防・生きがい活動の支援を行いました。

地域福祉フォーラム事業……………91万円
「震災からの学びを生かし・活かす“地域の取り組み”」をテーマに、基調講演、パネルディスカッション、展示体験等の構成で、関係機関協力のもと実施しました。



将来像1 子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち・すべての世代が生き生きと暮らせるまち

未来の富谷を担う子どもたちへの教育の充実

学び続けることのできる環境の整備

安心して子育てのできる環境の整備

誰もが健康で生き生きと生活できる環境づくり

教育委員会 学校教育課

町立小学校運営・維持管理事業……………1億9,776万円
町立小学校7校の運営・維持管理費です。特別支援教育支援員を各校3名に増員し、さらなる支援体制強化に努めました。

町立中学校運営・維持管理事業……………1億3,127万円
町立中学校5校の運営・維持管理費です。緊急雇用創出事業により学校業務員補助業務を委託し、各学校の校内整備充実に努めました。

町立小中学校図書推進事業……………3,395万円
「学校図書館支援室」を中心として、心豊かでたくましく生きる子どもの育成を図るため、読書活動推進に努めました。また、「富谷町図書館を使った調べる学習コンクール」を初開催しました。

福祉部 子育て支援課

子ども医療費助成事業……………1億9,449万円
平成23年10月から事業を拡大して子ども医療費助成事業とし、中学校3年生までの子どもを持つ保護者の負担軽減を図り、生活の安定と福祉の増進に努めました。

認可保育所運営事業……………4億6,997万円
待機児童の増加に対応するため、明石台若樹の森保育園を増築し定員増を図り、さらに明石台わか葉保育園の開園準備に着手しました。



明石台わか葉保育園

東向陽台中学校校舎増築事業……………2億1,490万円
生徒数の増加に対応するため、東向陽台中学校校舎増築工事を行い、快適な学習環境整備に努めました。

学校給食センター運営・維持管理事業……………4億4,156万円
学校給食センターでは、アレルギー対応給食を含め安全安心な給食を提供しました。また、児童生徒への安全確保のため、食材等の放射線検査を行いました。



保育所運営・維持管理事業……………1億4,465万円
児童の明るく健やかな成長を支援するため、適正な町立保育所の運営および施設の維持管理に努めました。

地域子育て支援事業……………661万円
安心して子育てができる環境を整備し、子育て親子の憩いの場として、親子が気兼ねなく集い、つながりあうことができる場を提供しました。また、一時預かり事業を実施しました。

家庭的保育事業……………1,123万円
多様な保育ニーズへの対応や待機児童解消を目的とした家庭的保育事業（保育ママ）制度は、新たに2名の保育ママを認定し4名となりました。また、家庭的保育補助者を養成する研修会を実施しました。

将来像3 町民と町が直接つながる あったかいまちづくり

住民との協働による
まちづくり

効果的・効率的な
行政運営



総務部 総務課

町内会館整備事業……………4,863万円
町内会の運営とコミュニティ活動の支援のため、町内会館の修繕等を行い、活動拠点の確保に努めました。本年度は、町中会館の新築工事及び太子堂会館新築工事に向けての準備に着手しました。



各種相談事業…………… 137万円
人権、行政、生活相談及び行政書士、司法書士同席の相談会を月2回開設し、女性のための相談会については年4回実施しました。また、消費生活相談については、本年度より専門の相談員を新たに配置し、週2回の相談日を設けました。

企画部 財政課

公有財産維持管理事業…………… 1億8万円
本庁舎については、庁舎管理業務を委託している業者との連絡調整を密にし、定期点検等の確実な実施を行いました。旧第一学校給食センターについては、公文書保管および防災備蓄倉庫等としての機能を持つ改修工事を実施しました。また、町有未利用財産の適切な維持管理に努めました。



企画部 経営企画課

企画調整事務……………1,009万円
定期的に庁議を開催し、町政運営の基本方針および重要施策に関する事項等の審議や総合調整を行い、迅速かつ適切な行政経営を推進しました。

行政情報紙発行事業……………1,299万円
「広報とみや」の発行により、町の施策全般や町民の生活に必要な情報などを適時、かつ正確にお知らせするとともに、さらなる紙面充実に努めました。併せてイベント撮影業務委託を行い、ホームページと連動した動画による情報発信を実施しました。

5万人都市推進事業…………… 66万円
4月2日、「5万人都市2016市制移行へ」キックオフ宣言を行い、啓発活動としてピンバッジを制作配布しました。

企画部 あったかまちづくり推進課

新年祝賀会…………… 210万円
平成25年新春を寿ぎ、年頭にあたり町民皆さんのご多幸と富谷町の恒久の発展、そして人口5万人到達を祝う機会として開催しました。

総務部 税務課

徴収事業……………2,183万円
納期内納税および自主納税を基本として、あらゆる機会を通じて納税者の納税意識の高揚を図り、収入未済額縮減に努めました。

将来像2 豊かな自然環境と活力ある地場産業を 自慢と誇りにできるまちづくり

企業誘致による
新たな就業の場の提供

地域資源を活かした
魅力の向上

“居住の場”として選
択されつづけるための
環境づくり

安心して生活できる
環境づくり

企画部 産業振興課

企業誘致事業……………4,201万円
宮城県と連絡を密に情報収集を図り誘致活動を行うとともに「高屋敷地区」「成田第二期北地区」の企業誘致パンフレットを宮城県企業立地セミナー等で活用しPRしました。また、富谷町の企業立地優遇制度である企業立地促進奨励金および雇用促進奨励金の利用の周知と促進に努めました。

ブルーベリー産地拡大事業…………… 51万円
特産品であるブルーベリーの販路拡大および町内外へのPRを目的として、「ブルーベリースイーツフェア」を開催し、好評を得ました。また、親子でお菓子作りを行う「ふれあい教室」を開催し消費拡大に努めました。

企画部 あったかまちづくり推進課

十三夜魂のふるさとまつり運営事業……………914万円
「ふるさと富谷の歴史と絆をつむぐ町民総参加のまつり」をコンセプトに6回目となるまつりを開催しました。また、過去5回の開催を通してオリジナルのまつりの基本形が確立したことから、開催期間を2日間から1日とし、内容を凝縮して開催しました。



まちづくり総務事務……………342万円
「とみやっ子たなばたかざり」を初めての取り組みとして、富谷町シルバー人材センターと共催で、しんまち通りを会場に実施しました。

建設部 都市整備課

清水沢・宮ノ沢住宅建替事業……………8,689万円
老朽化した町営住宅を計画的に建替えることにより、低所得者層の福祉向上と周辺環境の改善に努めました。

側溝整備事業…………… 1億1,070万円
道路側溝の有蓋化により、道路有効幅員を確保するとともに、車輛や歩行者の安全対策に努めました。

道路改良・歩道整備事業…………… 3億4,290万円
狹隘道路等において、歩行者の安全と車輛走行の円滑化及び安全性を確保するため、道路改良および歩道整備を実施しました。

労働雇用対策事業……………1,618万円

公益社団法人富谷町シルバー人材センターと連携協力し、子育てサロン「ほっと育く」、高齢者就業事業等の支援を行い、高齢者層を対象に地域貢献や福祉の増進を図りました。



緊急雇用創出事業

緊急雇用創出事業臨時特例交付金に係る補助事業を活用して、失業者雇用に向けた事業創出を図りました。

総務部 総務課

消防団員設置・運営事業……………1,524万円
火災発生時の消防署員と連携した消火活動や残火警戒をはじめ、大雨による河川増水時の警戒巡視、小型可搬ポンプ軽積載車による火災予防などにより、町の防災、減災の強化を図りました。

防災用備蓄物品等整備事業……………343万円
日吉台公民館へ22カ所目となる防災備蓄倉庫を配備し、地域における防災組織との連携を深めるとともに、災害時における公民館機能の強化を図りました。

災害対策総務事務事業……………882万円
「東日本大震災の記録 内陸部自治体500日の取り組み」を刊行し、町内関係者や、県外自治体や図書館等へ配布し、震災対応について周知を図りました。

防災用情報通信設備等整備事業…………… 1億2,934万円
公民館や学校等へ27局の同報系と町内会館等へ51局の移動系防災行政無線を整備し、大規模災害発生時の情報伝達機能の強化を図りました。

総務部 町民生活課

ごみ集積所整備事業……………535万円
衛生的かつ利便性の高いごみ集積所の整備促進を目的に、町内会の申請に基づき、整備費用の一部を助成することにより地域ごみ集積所の不便・不快解消に寄与しました。

放射線量測定業務……………568万円
放射線量について、町内64カ所の定点観測および車載搭載型測定機により町内幹線道路観測を2回実施し、測定結果を町ホームページ等で公表しました。

東日本大震災関係

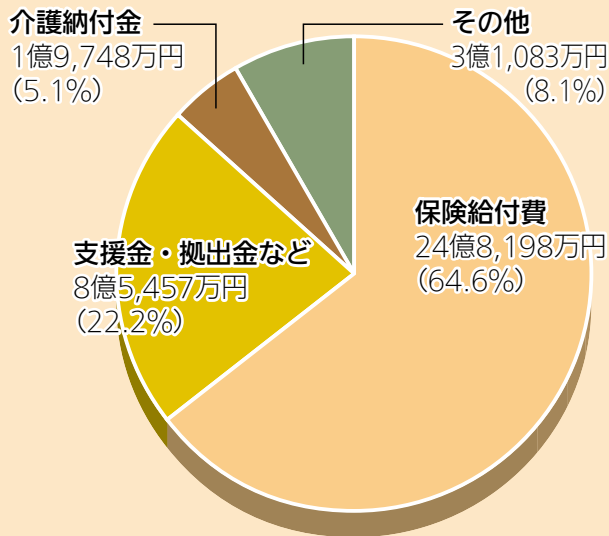
災害復旧等に要した経費 1億5,956万円
(他会計へ補助および繰出した経費479万円含む)

経費の詳細

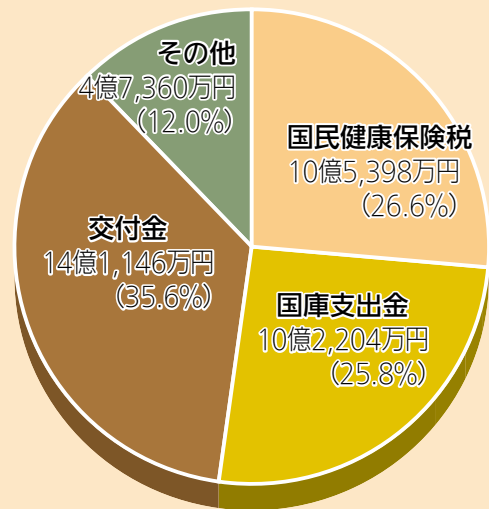
区分	決算額	経費概要	内容
災害復旧費	6,404万円	災害によって生じた被害の復旧に要する経費で施設の原形復旧に関する経費	農道、町道、公共施設（幼稚園、保育所、学校、庁舎、その他町公共施設）の原形復旧等
災害救助費	6,979万円	災害救助法に基づき市町村長が救助の実施にあたった経費	避難所設営、配給、給水等
災害対策費	2,094万円	災害救助費、災害復旧費以外で災害対策、被害軽減に要した経費	震災粗大ごみ回収、相談窓口設置等

国民健康保険特別会計決算

歳出 38億4,486万円



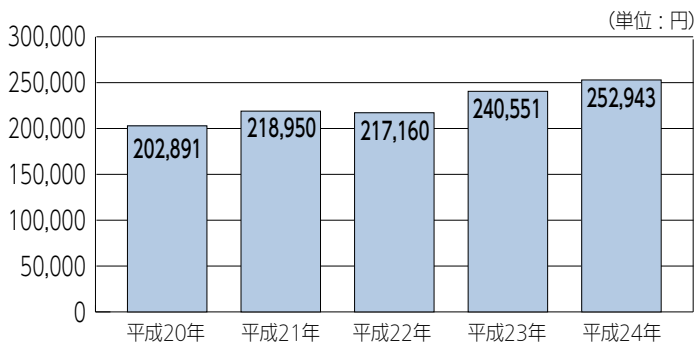
歳入 39億6,108万円



保険給付費…主に医療費の支払いに充てる費用
支援金・拠出金…後期高齢者医療制度の運営支援金等
介護納付金…介護保険の運営に充てる納付金
その他…保健事業費（特定健康診査・特定保健指導等の経費）、事務費など

国民健康保険税…皆さんに納めていただいた国民健康保険税
国庫支出金…国が支出する負担金や交付金
交付金…支払基金などが支出する交付金
その他…県支出金、繰入金など

1人あたり保険給付費の推移



1人あたりの保険給付費は年々増加しています。このまま医療費が増え続けると、国保の財政運営に影響をおよぼします。医療費の増加を防ぐためにも、1人ひとりが健康に関心を持ち、正しい知識を身に付け、実践していくことが必要です。皆さんのご協力をお願いします。

1. 健康診査を受けましょう
2. 重複受診や転医を控えましょう
3. かかりつけ医・薬局を持ちましょう
4. 時間外受診はなるべく控えましょう
5. ジェネリック医薬品を活用しましょう

特別会計・水道事業会計の決算状況

●特別会計

特定の事業を行うために、一般会計とは別に計上される会計を特別会計といいます。
 平成24年度は、4会計とも黒字決算となりました。

会計	収入済額	支出済額	内容
国民健康保険特別会計	39億6,108万円	38億4,486万円	医療費の支給、特定健康診査など。
下水道事業特別会計	11億2,227万円	10億8,437万円	公共下水道の整備など。
介護保険特別会計	18億1,056万円	17億3,137万円	介護サービス給付費など。
後期高齢者医療特別会計	2億1,979万円	2億1,740万円	後期高齢者医療広域連合への給付金など。

●水道事業会計

水道事業会計は、一般会計とは異なり企業会計の方式によって経営しています。
 安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を行っています。

会計	収入済額	支出済額	内容
収益的収支	9億8,243万円	10億 782万円	収入のほとんどは水道料金。支出は職員給与や固定資産の減価償却など。
資本的収支	3,211万円	1億1,232万円	支出は施設整備などの資産取得など。